

ひらの 議会だより



ふるさと再生へ事業展開

町史上最大の予算が成立

(26年度予算)②

復興の現状と取り組みを確認

(定例会質疑)⑥

生活環境や健康管理体制整備など 6議員が町政を問う(一般質問)⑫

ピカピカの新1年生

(広野小学校 入学式)

No.121

平成26年4月18日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

ふるさと再生への事業を展開

施政方針

平成26年3月定例会を、3月6日から14日までの会期で開きました。

今回は、平成26年度予算を中心に、条例の改正や補正予算など、提出された28の議案を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。

このうち町の仕事の大部分を占める平成26年度一般会計予算は、総額147億6492万円と昨年度に比べ60.5%の増となり、平成24年度の126億3832万円を上回る町史上最大の予算となります。

歳入は、東京電力広野火力発電所6号機の運転開始に伴い、税収入が増加することから普通交付税の不交付団体になることを勘案しても極めて厳しい財政運営となり、公営住宅建設事業債（借入金）や、財政調整基金（貯金）からの繰り入れによって不足分が補われます。

一方、歳出は、復旧復興に係る除染対策費や町民の帰還促進に係る事業、町民の健康維持増進に係る事業を主とした編成になっていることから町民帰還への生活環境の整備に努めるようにとの意見が多く出されました。

ふる里復興再生、希望の年 広野町復興計画の事業実施へ

平成26年度は、「ふる里復興再生、希望の年」と位置付け、町復興の加速化を図ります。

広野町の再生を目指して策定した、広野町復興計画に掲げた各事業の実現に向けて次の施策を基本に町政運営を進めます。

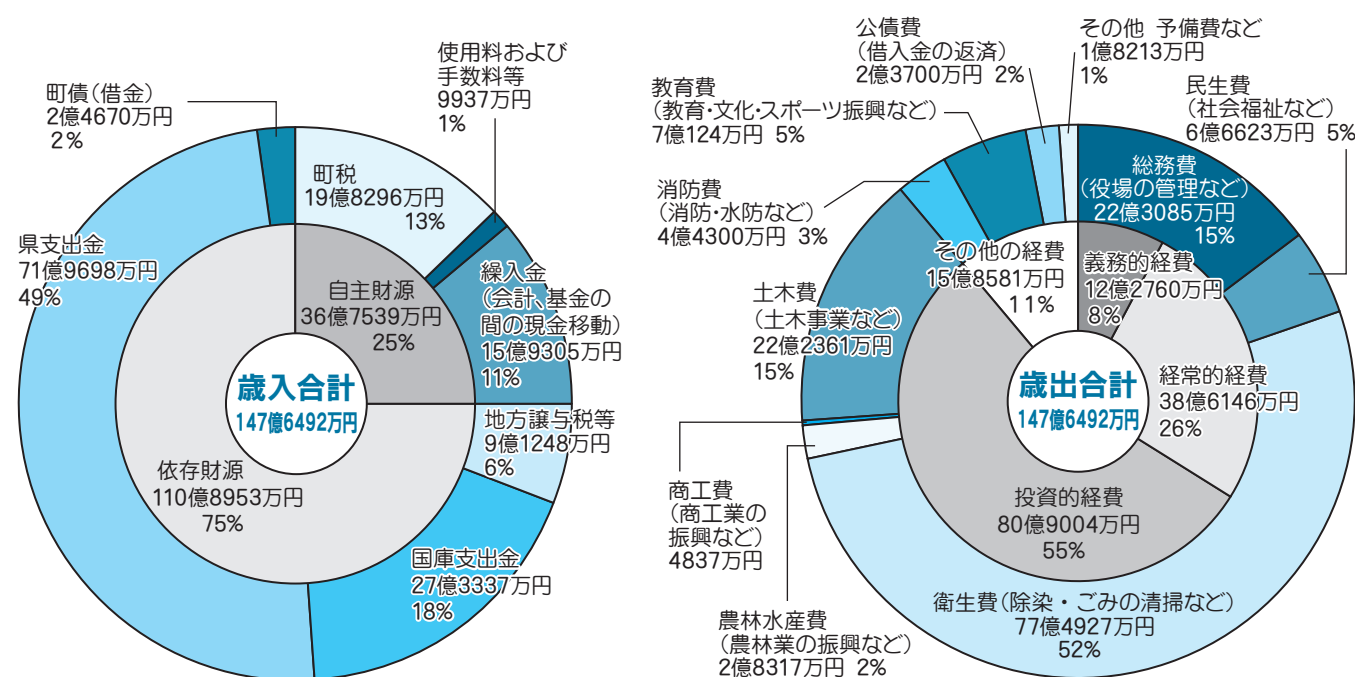


施政方針を述べる町長

- 生活再建のための事業
- 安心を取り戻し、生活環境を整備する事業
- 発展を促進する新しい町づくり事業
- 情報の共有により町民の意見を町政に反映させる事業
- 教育の充実により未来を担う子どもたちを育てる事業

（詳しくは、「広報ひろの4月号」をご覧ください）

平成26年度一般会計予算（147億6492万円）の割合



平成26年度予算額

会計名	平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	147億6492万円	92億25万円	60.5%	全員賛成で可決
特別会計				
国民健康保険	9億8100万円	8億7520万円	12.1%	
土地開発事業	10億3690万円	1億9819万円	423.2%	
公共下水道事業	3億571万円	2億6593万円	15.0%	
農業集落排水事業	3061万円	3066万円	△0.2%	
介護保険	4億5942万円	4億3738万円	5.0%	
後期高齢者医療	4530万円	3934万円	15.1%	
小計	28億5894万円	18億4670万円	54.8%	
合計	176億2386万円	110億4695万円	59.5%	

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。



建設中の災害公営住宅

災害公営住宅整備事業費（第1期） 4億9447万円

被災した方の居住環境確保のために災害公営住宅を建設しています。

災害廃棄物処理委託事業 5億5925万円

仮置場で分別処理・処分します。



分別される災害廃棄物



元気いっぱい保育所の子どもたち

子育て世帯臨時特例 給付金給付事業 628万円

消費税の引き上げに伴い、条件を満たした子育て世帯に給付金を支給します。

駅東側整備事業 10億2590万円

復興のシンボル事業である駅東側の造成事業を行います。



整備予定の駅東側地区



改修が予定される町営住宅

町営住宅改修事業 4億6648万円

住宅室内・設備を修繕し、帰町への環境を整えます。

クローズアップ 2014 重点事業



減容化施設建設の造成工事

仮設減容化施設整備事業 58億1040万円

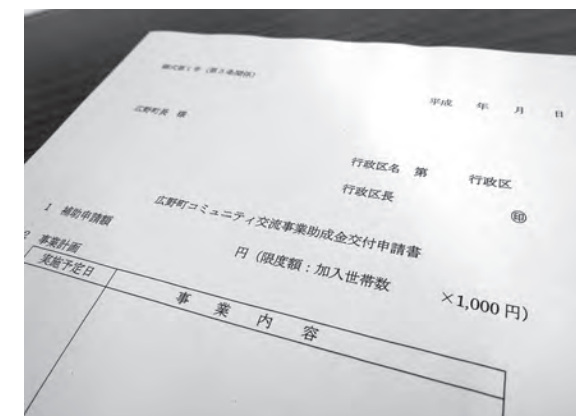
国代行の減容化施設整備工事費を一部負担します。（負担金は国や県から補助されます）

第20回ひろの童謡まつり事業 1814万円

復興シンボル事業として開催します。今年で20回目を迎えます。



昨年の童謡まつり



行政区のコミュニティー交流が目的

コミュニティ交流事業 160万円

行政区が行う事業に助成金を交付します。

除染対策事業 9億3550万円

面的除染の未実施箇所や追加除染を行います。



工事車両通行を知らせる看板

こんなことが決まりました

固定資産評価審査委員に再任



すずき こういち
鈴木 光一 氏
(大字上北迫)

固定資産評価審査委員に鈴木光一氏を選任することに同意しました。

人事案件に全員が同意

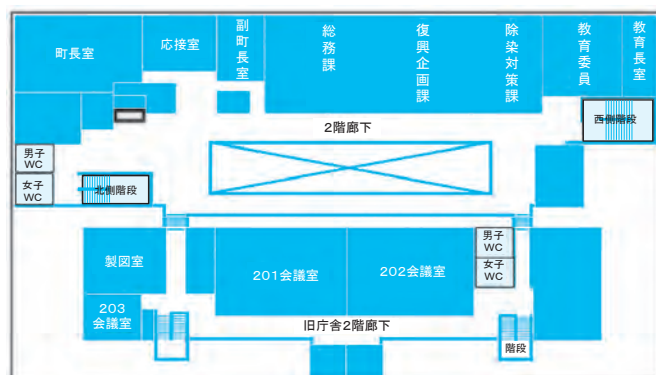
4月からの消費税増税により下水道、農業集落排水使用料、金や道路占用料の税率を改めるための議案を全会一致で可決しました。



広野浄化センター

増税で料金が見直されます

グループが課に変わります
機構改革による関係条例を整理する議案を全会一致で可決しました。



役場庁舎2階配置図



役場庁舎1階配置図



グループ制から課制へ

渡辺久長議員 町長に就任して間もないなかで行政機構を見直す理由は何ですか。
また、町民に対する周知をどのように考えていますか。

遠藤町長 役場の業務を町民にわかりやすくするため、確かな復興を実現するために取り組むものです。
周知は、混乱することがないように広報紙はじめ、様々な情報できちんと伝えていきます。

グループ制を課制に変えるのは

26年度 予算質疑

25年度一般会計

最終補正で

12億1826万円を減額

今回の補正は、主に予算確定等による最終調整および地域振興対策費と復興事業費の大幅な減額でした。

これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ12億1826万円減額され、総額で112億3642万円となりました。

3月補正の結果

会計名	補正後の予算額(補正額)
一般会計	112億3642万円 (△12億1826万円)
国民健康保険特別	9億6281万円 (1101万円)
土地開発事業特別	3億6402万円 (△4156万円)
公共下水道事業特別	5億7665万円 (△1041万円)
介護保険特別	4億7770万円 (△261万円)
後期高齢者医療特別	1304万円 (△2670万円)

地方債残高(町の借金) 平成25年度末見込

地方債(一般会計)	28億6323万円
地域開発事業債	1億3300万円
広野町下水道事業債	13億6580万円
農業集落排水事業債	2億8666万円
合計	46億4869万円

町民1人あたりの借金 約90万円

基金・積立金残高(町の貯金) 平成25年度末見込

財政調整基金	11億9807万円
減債基金	2億3544万円
ふれあい福祉基金	9562万円
復興交付金基金	16億8720万円
電源立地促進対策交付金施設維持基金	2億7825万円
震災復興基金	1億9506万円
その他の基金の計	6億4293万円
合計	43億3257万円

町民1人あたりの貯金 約84万円

平成26年3月31日現在 5151人をもとに算出

補正予算 質疑

復興の現状と 取り組みを確認

公共下水道施設の処理能力は

小磯利雄議員 公共下水道工エリアの中にも作業員の方の施設や宿舎があると思いますが、合併浄化槽・集落排水・公共下水道の処理はどのように利用されているのですか。

渡辺建設グループリーダー ほとんどの建物が下水道区域外に建設され、合併処理浄化槽で処理され放出されています。

どのような努力をしているのか

塩 史子議員 下水道使用料と受益者分担金の未納分はこのくらいの金額があるのですか。

渡辺建設グループリーダー 下水道使用料の未納額は212万6000円で、受益者分担金の未納額は243万4000円です。

また、未納を回収するためどのような努力をしていますか。

未納者に対して、未納通知を交付し、納めていただくような手立てをとっています。



町内に大きな影響をあたえた大雪（折木字上原地内）

除雪の初動体制が遅れた要因は

塩 史子議員 2月

8・9日の除雪に対する初動体制が遅れが生じた要因はなんですか。

また、歩道の除雪が遅れていました。

そして、国道・県道・町道とありますが、ここから先は県道だから除雪できないというような行政の縦割りはなにかありませんか。

遠藤町長 オペレーターが震災、原子力発電所事故のため避難をされていて、町内にいなかったと聞いています。

夜間からの雪のため、朝、動こうと思っただのに時間がかかってしまったことで対応が伴わなかったのが実態です。

日頃から行政の連携を重視していきます。

また、今後に向けて大雪に関する防災協定を建設業・設備会社と結びたいと考えますし、役場職員が対応する危機管理マニュアルを制定したいと思っています。

あの惨禍を後世に語り継げ

門馬 巧議員 3年前

の大震災そして大津波、未曾有の原子力発電所事故につながった惨禍を忘れることなく後世に語り継ぐためにも、碑などを建立し、祈念行事をする考えはありませんか。

遠藤町長 公園事業で採択になっている交付金事業のなかで、哀悼の意を念ずることができるものを町として取り組みを進めたいと考えています。

除染未同意の家屋は何軒あるのか

渡辺久長議員 除染が

されていない家屋は何軒あるのですか。

松本建設課長 福島県に報告しているのは54軒です。

太陽光パネル設置場所の変更か

北郷幹夫議員 平成25

年3月定例会では、保育所南側斜面に太陽光パネルを設置することでしたが、保育所南側斜面とは別に新たに、役場・公民館・小学校に設置するのですか。

それとも、設置場所の変更ですか。

中津企画グループリーダー 保育所南側斜面では効率的な発電ができないので役場・公民館・小学校に変更しました。

ため池の水質調査範囲を拡大できないか

北郷幹夫議員 町内の

2カ所（西の沢・二ツ沼）のため池を年2回水質調査することですが、2カ所だけではなく、ほかに範囲を広げることばできませんか。

大和田福祉環境グルー

プリーダー すべての範囲を調査すると相応な数になりますので代表的なため池を調査しています。

また、放射性物質も測定しています。

また、放射性物質を測定調査できませんか。



水質調査と放射性物質検査が行われている西の沢ため池

保健師の社協への派遣を要請できないか

門馬まりえ議員 包括

支援センターは保健師・社会福祉士・介護福祉士の3名が配置となつています。

県の保健師等の派遣制度で派遣を要請し、社会福祉協議会に派遣することはできませんか。



包括支援センターを運営する社会福祉協議会

青木総務課長 町に派遣いただいている方を

社会福祉協議会などに派遣できるかどうかは県と相談したいと思っています。

副町長の身分は県からの出向なのか

門馬 巧議員 副町長

の身分は、福島県からの出向ですか。

また、町の町長等の給与及び旅費に関する条例の適用を受けるのですか。

青木総務課長 副町長の身分は、福島県を退職して町の副町長に就任しています。

給与は町から支出し、条例も適用となります。

報酬の減額を考えよ

門馬 巧議員 行政区

長は昨年同様、残念ながら実質活動をされていると私は認識していません。

条例で決まっているから支給するということではなく、業務に見合った金額に減額するなど考えられませんか。

青木総務課長 行政区長には、区の要望を聞いていただいたり、町の事業等を説明していただくこともありま

す。コミュニティ交流事業活用などできるだけ行政区内の活動をしていただくよう取り組みます。

しっかりと説明を求める
復興に向けた造成事業

町より、二ツ沼公園内の企業は平成26年9月撤退、11月までの建物撤収、その後、芝を張り、平成27年3月に公園を返還する予定との説明がありました。

それに合わせて、今後の定住促進施策としての家族向け住宅建設や集合型住宅建設を検討し、新たな宅地開発と町民居住エリアと原発事故関連エリアの混在をさける工業団地整備を行いたいとの説明があり、行政の戦略的指導・監視を強化した事業を進めるとのことでした。

委員会は、町が参加する形での※「特定目的会社」や「東町地区定住促進住宅整備事業」など議会で議決された説明とかい離しているの、今後このようないことが無いように、はじめからしっかりと説明をするよう求めました。

※ 特別の目的のために設立された会社

委員会報告

委員会の活動

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
東日本大震災災害復興に関する特別委員会

状況を報告します。

平成26年2月12日 開催
平成26年2月13日 開催
平成26年2月18日 開催



昨年作付けされた水田

産業厚生

農業の長期展望を考察すべき 平成25年産米の作付け

- 次の説明がありました。
- ①平成25年産米の収穫量
 - ②平成25年産米等級検査結果
 - ③全量全袋検査結果
 - ④営農再開支援事業
 - ⑤有害鳥獣対策
 - ⑥水源モニタリング調査結果
 - ⑦平成26年産米の対応

帰町者が少しずつ増えていますが、若者はどうなのかとの心配があるなかで、本町農業の長期展望を考察すべきであるなどの指摘事項を次年度への「糧」とし、農政に反映し多くの成果を上げられるような施策を行うよう提言しました。



1月に開催された

Jリーガーによるサッカー教室

総務文教

安心して帰町できる環境を 帰町促進を図るための取り組み

町営住宅の修繕は、委員会は、早急に町入札を執行しました。営住宅の修繕を進め、津波被災者も安心して帰町できる環境整備に努めるよう提言しました。

26年度事業として早期の工事発注に努めるとの報告がありました。

特別委員会

建設スケジュールの前倒を求める 減容化施設に係る進捗状況

町の代行事業であることから、環境省からの支援や県の交付金で対応するため、実質、町負担はないとの説明を受けました。

委員会は、工程表の前倒しと、町に対しては、隣接町である檜葉町に、しっかりと説明して、理解を得るよう求めました。

特別委員会

住民への周知と理解を 社会福祉法人 友愛会の事業所新設

富岡町で施設を開所していた社会福祉法人友愛会が、広野町で事業所を新設するとの説明を受けました。

委員会は、住民への周知と理解を得ること、事業計画にそって推進すること、食料などの購入については広野町商工会の活用を図ることを求めました。



良質な住環境の提供を提言

産業厚生

良質な住宅の工期内完成を目指せ 災害公営住宅建設

次の説明がありました。

- ①工事概要
- ②災害公営住宅建築工事進捗状況
- ③工事工程

委員会は、工期延長等がないようしっかりと工程を管理し、良質な住宅の工期内完成を目指し最善を尽くすよう提言しました。

産業厚生

早期再開が図れるよう提言 広野町地域医療復興事業

次の説明がありました。

- ①新妻歯科医院の再開
- ②再開時期
- ③町の公的支援

委員会は、町単独での支援策を講じることができないものの、他の施策で支援し、早期再開が図れることを提言しました。

追跡レポート

あの質問 怎么样了？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成25年9月定例会● 一般質問

畑 中 大 子 議員

災害公営住宅の家賃減免を検討せよ

災害公営住宅家賃の減免は検討していますか。また、決定して、町民に広く知らせるべきではないですか。



町独自の減免も検討中、決定次第お知らせ

国の補助を活用するほか、町独自の減免措置も検討しています。
内容が決定次第、お知らせします。



平成29年3月分まで減免

月額家賃は、入居者が申告した世帯全員の収入と家族構成、間取りに応じて毎年、町が決定します。

家賃は毎月納付していただくことになりますが、平成29年3月分までは、町独自の減免がされます。



完成に近づく災害公営住宅

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いたすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

6人の議員が町政を問う

一般質問席

子どもたちの再会・交流事業を開催せよ

遠藤町長／事業を実施したい

遠藤

震災から3年が経過し、子どもたちは、同級生や

広野町への思い出が薄らいでいます。

子どもたちの絆をつなぎとめる事業を実施して「空白となった子どもたちの記憶」を取り戻すことが重要ではないですか。

町長

子どもたちの絆を深めるとともに、広野町の歴史・文化に触れる機会は重要です。

夏休みなどを利用して同級生が一同に参加できるような事業を実施していきます。

内部被ばくの予防対策を構築せよ

遠藤町長／継続して不安解消に努める

遠藤

「内部被ばく」に対して、町民の不安・不信を解消し、無駄な被ばくを防止していくために、どのような予防対策を構築していくのですか。

町長

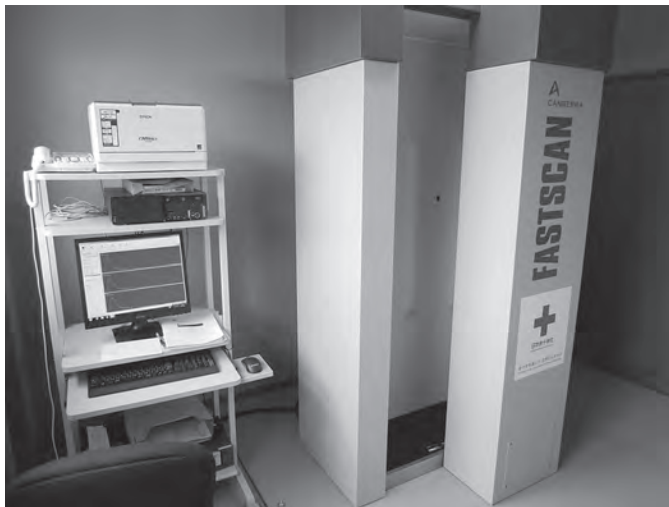
町は、一般食品などのモニタリング結果を公表し、食の不安解消に努め、今後も継続します。

また、定期的なホールボディカウンターによる内部被ばく検査の勧奨や放射線を正しく理解するための講演会、勉強会などを継続することによって不安の低減を図ります。

遠藤 浩 議員



双葉郡の将来を考える小中学生（子ども未来会議）



内部被ばくを検査するホールボディーカウンター



役場屋上に設置されているウェブカメラ



北郷 幹夫 議員

健診率を高める対策は

遠藤町長／未受診者へ意向調査を実施

北郷 震災、原子力発電所事故から3年を迎え、町民は、さまざまな不安を抱えて生活しています。

今後、疾病の早期予防と早期治療には、健診率を高める必要があります。

- ① 特定健診
- ② がん検診
- ③ 甲状腺検査

3つの受診率と受診率向上対策を尋ねます。

また、避難生活での心のケア支援に対する、これまでの対策と今後の取り組みはどのようなものですか。

町長 平成25年度の受診率は、特定健診が39・5%、がん検診では、胃がん検診21・0%、肺がん検診42・6%、大腸がん検診35・4%、子宮頸がん検診34・5%、乳がん検診36・8%、前立腺がん検診36・8%です。

甲状腺検査の受診率は、75・2%です。

なお、未受診者への意向調査を実施して受診率向上に努めます。心のケア支援は、これまでに家庭訪問、心の相談会、健康教育などを実施し、今後も高齢者世帯の家庭訪問を重点に努めます。

津波監視カメラを設置せよ

遠藤町長／被災地区の復旧状況をみて検討

北郷 災害に強いまちづくりを進めるため、海岸沿いと役場屋上に津波監視カメラを設置し、対策に万全を期すべきではないですか。

また、防災訓練、特に津波避難訓練を、計画的に実施すべきではないですか。

町長 役場庁舎屋上にウェブカメラを設置しています。津波対策にも活用できますので、津波監視カメラの設置は、津波被災地区の復旧状況をみて検討していきま

す。また、津波避難訓練を実施したいと考えま

老朽化した浄水場を改修せよ

遠藤町長／小滝平浄水場の改修を協議中

門馬 町民は、母なる浅見川の水が飲用水として継続供給されることを望んでいます。

水道企業団構成町との今後を展望すれば、水源・浄水場の整備は差し迫った課題ではないですか。

町長 給水計画で、現在、小滝平浄水場からの給水のみで賄っています。

しかし、当施設は老朽化が著しく、早期改修に向けて、国、県、関係機関と協議しているところです。



門馬 巧 議員



浅見川上流にある大船水源地

町内3河川放射線量調査

試料名	平成25年11月	平成25年12月	平成26年1月
浅見川	ND	ND	ND
北迫川	ND	ND	ND
折木川	ND	ND	ND

測定機関：福島工業高等専門学校

平成26年1月時点で、全て検出下限値未満（ND）です。

「町政維新」とは

遠藤町長／新たなまちづくりを成し遂げる

門馬 町長は先の町長選挙の公約で、「町政維新」を掲げていましたが具体的に何をどのように改革するのですか。

町長 町民とともに協力、協働して新たなまちづくりを成し遂げるため、生活再建、安心の確保、発展の促進、情報の共有教育の充実を重点に全力で取り組みます。

生活雑排水への対策は

遠藤町長／適切に処理するように要請

門馬 原子力発電所事故に由来する作業員宿舍が町内に設置され、それに伴い生活雑排水の問題が心配されています。

水質保全の観点から条例を制定し、水環境を守るべく対策を講じるべきではないですか。

町長 作業員宿舍および事務所の生活排水は、合併浄化槽の設置などで適切に処理するよう指導していきま

す。なお、水質保全に係る条例の制定は、検討していきま



幼稚園・小学校・中学校合同で行われた防災訓練

中高一貫校の安全対策は

浅野教育長／万全を期すべきもの

畑中

①これから建設される中高

一貫校校舎や関連の施設や寮などは安心して学べる所でなくてはなりません。

モニタリングはもとより、施設内にエアコンを設置することが必要ではないですか。

②給食の実施方法を、具体的に検討していますか。

③地震や津波・放射能などの災害に対する安全教育をどのように考えますか。

教育長

①建設される校舎や関連の

施設は、県教育庁が建設しますが、モニタリングの実施やエアコン設置を要望します。

②給食の実施予定はなく、食堂を設置するつもりです。

③教育課程のなかに組み込んで実施する予定で、地域と連携した防災訓練に取り組む予定であると聞いています。

その他の質問

部活動は生徒の意見を取り入れよ

浅野教育長／取り入れるべきは取り入れる



昨年開催された復興祭（文化展）



畑中 大子 議員

高校授業料無償制度の変更をどう考えるか

遠藤町長／制度移行は時期尚早

畑中

①高校授業料無償制度は、

どのように変わりましたか。

②広野町での対象人数は何人ですか。

③町民に、制度の変更を通知しましたか。

④保護者の収入で差をつける制度の変更をどのように考えますか。

町長

①公立高校の例外を除く全

ての高校生が授業料無償制度の適用を受けていましたが、平成26年度入学生から所得制限基準が設けられることになりました。

基準額以上の世帯の生徒は、授業料を納付

介護給付の削減が与える影響とは

遠藤町長／法案成立を踏まえ動向を注視する

畑中

①国の方針で介護保険制度

が大きく変えられようとしていることの認識はありますか。

また、広野町と町民の負担や給付がどのようなになるのですか。

②国の姿勢を問うのはもちろんですが、介護サービスをする自治体としての役目も問われてくると思います。

このような状況をどのように考えますか。

町長

①今後、法案

成立を踏まえ、詳細な内容が示されますので、町および町民の負担の動向を注視していきます。

②高齢者が可能な限り住み慣れたところで、自分らしい暮らしを最後まで続けることができれば、地域の包括的な支援、サービスの提供体制を確立したいと考えます。

原子力発電所立地地域振興基金の使用目的は

遠藤町長／地域振興を図ること

畑中

原子力発電所立地地域振興

基金の使用目的は決められているのですか。また、それはなぜですか。

町長

当該基金は、原子力発電所立地地域の市町村の振興を図ることを目的

に、福島県が昭和63年に設置した基金です。使用目的は貸付対象事業として、交通通信施設、教育文化施設、厚生福祉施設、産業振興施設等の建設事業のほか、その他知事が特に必要と認める事業となっています。

生涯学習の充実に図れ

遠藤町長／町民のニーズに対応

門馬

「きらりと光る町」を創つ

ていくためには公民館活動の一つである生涯学習活動なども重要ではないですか。

町長

震災前以上に学習機会・学習情報の提供などの充実を図りたいと考えています。

町民参加の体制を整えよ

遠藤町長／意見を聞く機会を設ける

門馬

①第二次広野町復興計画策

定後は、町民参加の推進体制をどのように進めて行くのですか。

②駅東側土地利用について、現段階での考えを尋ねます。

町長

①今後の各種施策・事業展

開は、町民から意見を聞く機会を設け、合意形成を図れる行政運営に努めます。

②復興のシンボルとなるような土地利用が図られ、新たな玄関口として、賑わいが創出できるような空間づくりを進めます。

高齢者福祉計画の委託実績内容は

遠藤町長／社会福祉協議会への委託事業

門馬

高齢者福祉計画では、復旧

期における具体的な施策があげられています。が、実施機関は、社会福祉協議会に委託しています。

実績報告の内容は、どのようなものですか。

町長

平成24年度の

実績は、生きがい活動支援、生きがい活動支援通所サービス、自立支援ホームヘルプサービス、外出支援サービス、軽度生活援助サービス、配食サービス、寝具洗濯乾燥消毒サービス、ボランティア事業、福祉バス運行、老人クラブ指導事務、老人福祉センター管理運営および広桜荘管理運営の12事業を委託し、総額は6172万5286円です。

管理業務などを除く事業の利用者は、延べ9727人です。



門馬まりえ 議員

各計画の整合性を図れ

遠藤町長／整合性を図らなければならない

小磯 国・県施策と第四次広野町町勢振興計画との整合性、さらに「広野町復興計画」との整合性を尋ねます。

町長 「広野町復興計画」は海岸堤防整備事業や道路事業、防災緑地整備事業などの国・県事業との整合を図りながら改定作業を行っています。

また、上位計画の「広野町町勢振興計画」は平成26年度に策定します。



高速道路無料化の1年延長が決定

損害賠償と優遇措置の継続は

遠藤町長／強力に要望活動を実施

小磯 精神的賠償について、昨年12月定例会で「これまで同様取り組んでいる。」この答弁があり、町民は期待しています。

町長 お示しできる回答は得ていませんが、町民の実情を訴えながら、賠償の継続や新たな賠償制度の創設に向けた取り組みを粘り強く展開していきます。

見込みはありません。また一部優遇措置の打ち切りについてどうされるのですか。

また、一部優遇措置の打ち切りは、栖葉町、川内村と連携し、今後全員が対象となるよう引き続き要望します。



小磯 利雄 議員

損害範囲の判定にどう対処するのか

遠藤町長／強く要望する

小磯 昨年11月末田畑に係る財物賠償手続きが開始されましたが山林を含め本町は対象外、町として「損害範囲の判定等」にどう対処しますか。

町長 避難指示区域が全損扱いで緊急時避難準備区域が対象外というのは、著しく整合が取れない内容で、山林も財物賠償の対象とするよう強く要望を継続します。

今後の農業振興対策とは

遠藤町長／農家と共に検討したい

小磯 政府は昨年12月、これまでの減反・定額補助を止め、新交付金「日本型直接支払」へ変更しました。

町長 地域の中心となる経営体を明確にし、担い手への農地の集約を推進することが必要であり、農業の後継者育成の支援制度の創設や、六次産業化などを見据えた生産品目の転換や農業の複合化など、農家と検討していきます。

この「切り捨て改革」にどう対応されるのですか。

また、農産物の適切な生産管理や放射性物質検査結果の公表を継続し、原子力発電所事故に伴う風評被害からの回復に努めます。

第1回臨時会 2月14日開催

副町長に菅野氏（前福島県職員）



菅野 達也 氏

2月14日に第1回臨時議会を開きました。
副町長の選任は、菅野達也氏（前福島県市町村行政課副課長）を適任者と認め、全会一致で同意しました。
任期は平成26年2月18日から4年間です。

広野町議会は県内全原発の廃炉を求めます。

県内原発全10基の廃炉を求める意見書を全会一致で可決しました。
意見書は3月18日に内閣総理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

【送付先】
内閣総理大臣 安倍 晋三
経済産業大臣 茂木 敏充
衆議院議長 伊吹 文明
参議院議長 山崎 正昭

TPP交渉の十分な情報開示を求めます。

TPP交渉の十分な情報開示、衆参農林水産委員会決議や自民党決議を必ず実現することを求める請願を全会一致で採択しました。
意見書は3月18日に内閣総理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

【送付先】
内閣総理大臣 安倍 晋三
衆議院議長 伊吹 文明
参議院議長 山崎 正昭
外務大臣 岸田 文雄
農林水産大臣 林 芳正
経済産業大臣 茂木 敏充
内閣官房長官 菅 義偉



ま ちかど インタビュー

新年度を迎えた抱負は 目標に向かってチャレンジしよう

今回のインタビューテーマは「新年度の抱負」です。

勉強やスポーツ、趣味、習い事など、目標や決意、チャレンジしたいことを広野中学校の生徒にお聞きしました。



わたなべ きんしろう
渡邊 金四郎さん
(3年生 広洋台・一丁目)

キングを始めることにしました。
いろいろな場所をたくさん歩いて、新たな発見をしたいと思います。

私は新年度からウォーキングを始めようと思っています。

私は小さいころから3キロほど歩いていたので、最近、散策することにはまっていて、たまにしているのですが、3年生になって部活も引退して体力が落ちると思う、本格的にウォー



童謡祭りに参加した広野中学校



ねもと ちひろ
根本 千妃呂さん
(2年生 折木・太田川)

震災から4年目に入りますが、震災当時私は小学4年生でした。

当時にくらべて今の広野町は、お店や病院などが少なく、そのため人もあまりいないので、とてもさみしいなと思いました。

未来の広野町のために、たくさん勉強を自ら進んで行い、将来明るい広野町にできるよう、全力をつくしたいなと思います。

編集後記

新しい年を迎えたばかりと思っていたのに、桜の季節も過ぎ去ろうとしている。

冬の寒さが厳しかったせい、この春の花々の咲き方は例年と違いました。三春町は梅、桃、桜が同時に咲くのでその名がついたと言われているんですが、私たちの町でも梅、桃、桜の花を同時に見ることができました。

花木は時を忘れず花開き、私たちの傷ついた心を和ませてくれます。

思い返せば避難初期、桜がいつ咲き、いつ散ったのか記憶にありません。その頃と比べれば自然の変化を感じられるようになったただけ、大震災と原発事故から3年経ち、周辺の環境が整えられるにつ

れて少し気持ちが落ち着いてきたのでしょうか。

しかしながら、平気な顔をして生活しているのも心の隅には放射性物質に対する不安を誰もが抱えています。どんなに歳月が流れても私たちはこの大震災と原発事故を忘れない、忘れてはならないと心に誓い、再生を信じて、出来ることを少しずつではありますが続けていく毎日です。

(塩 史子)

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長	渡邊正俊
副委員長	北郷幹夫
委員	塩 史子
委員	渡辺久長
委員	門馬 巧
委員	畑中 大子
委員	小磯利雄

次の定例会は6月です